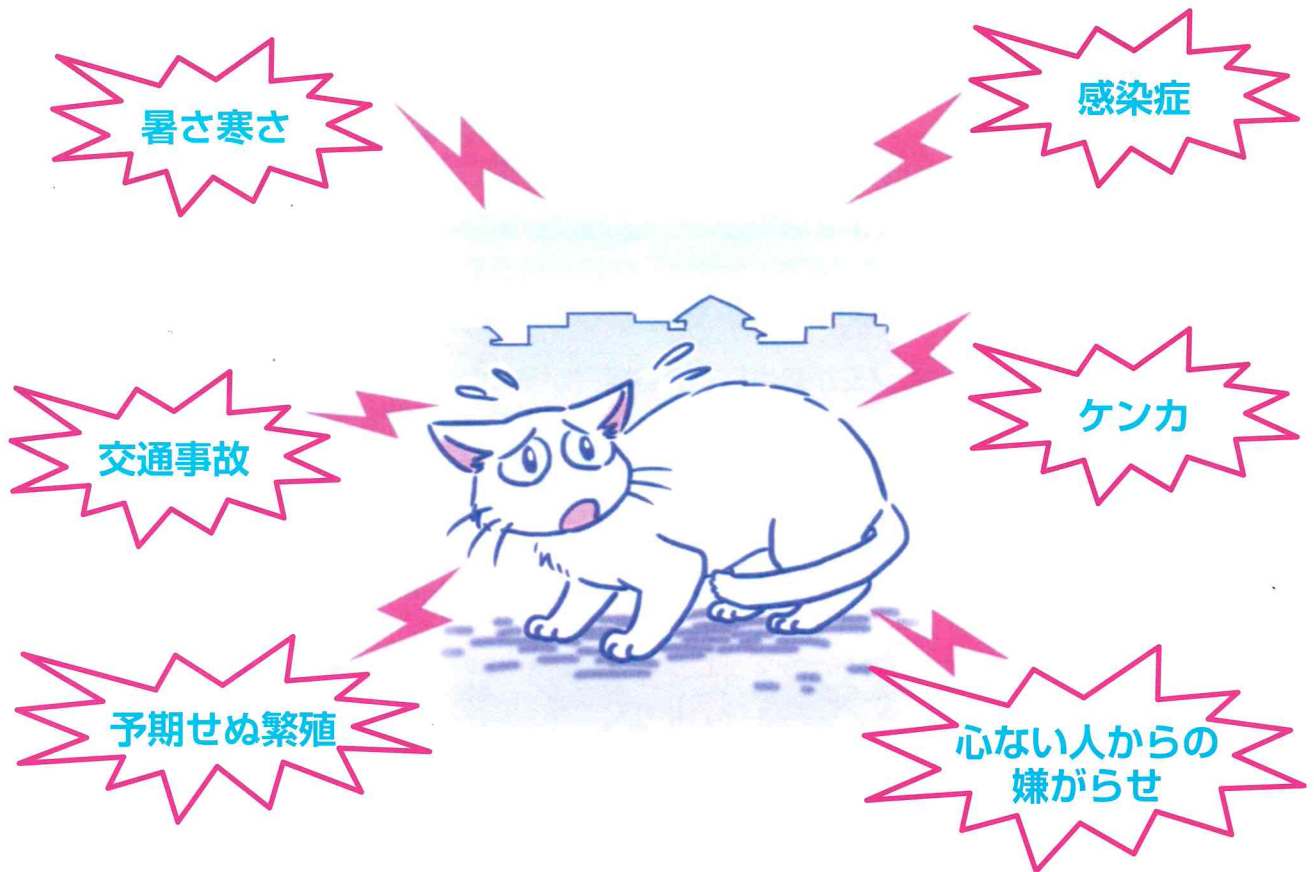


「飼い主のいない猫」 は幸せ?

～まずは飼い主の責任と自覚が不幸な猫の発生を止められます～

～不幸な猫に心を痛めている人へ～



不幸な猫を少しでも減らすために、あなたにできることをもう一度見つめ直してみませんか？

お問合せ先

滋賀県動物保護管理センター

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根136-98

TEL(0748)75-1911

FAX(0748)75-4450

発行元

(一財)滋賀県動物保護管理協会

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根136-98

TEL(0748)75-6522

FAX(0748)75-3295

エサやりによって考えられる周辺環境への影響

決まった場所でエサを与えることで、今まで散らばって生活していた猫が集まってきます。



猫は、十分な量の食べ物が1ヶ所に集中しているとその周りにコロニーと呼ばれる「たまり場」の様なものを形成します。

猫は、トイレや休息場所を単独で所有するため、集まってきた場所の周りに頭数分のトイレと休息場所が必要となり、エサ場周辺の住宅の敷地内に糞害や悪臭をもたらすこともあります。また、自家用車や家の壁に傷を付けたり、花壇や植木鉢を壊してしまったりすることも考えられます。

飼い主のいない猫は、ノミが寄生している場合が多く、ノミによる人への危害も考えられます。

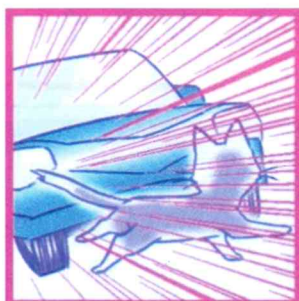


エサやりによって考えられる猫への影響





エサやりの場所が交通量の多い道路の近くになると交通事故に遭ってしまうかもしれません。

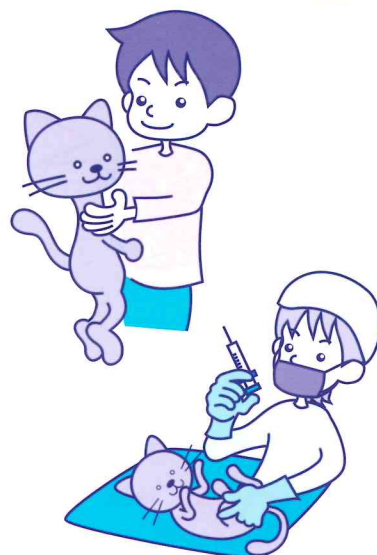
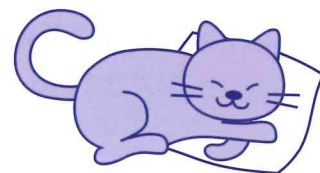
猫が集まることで病気に感染する確率が高くなります。

猫が増えすぎると地域で「嫌われ者」になる場合が多く、追い払われることで人になつくことのない猫は、飼い猫として家庭で飼われる可能性が極めて低くなります。

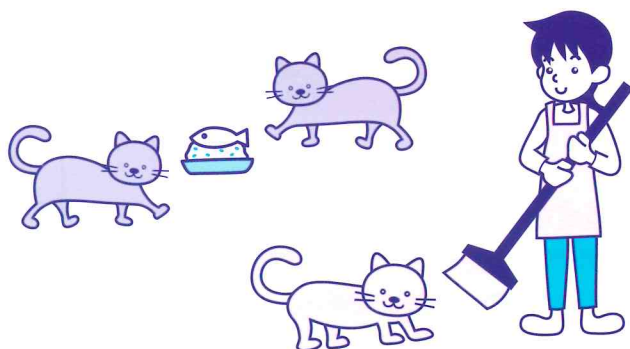


飼い主のいない猫にエサを与えるのなら

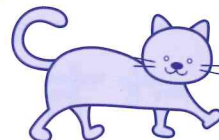
-  家族の一員として、室内で飼養する。
家族の一員として家庭に迎えてあげるのが最善策かもしれません。家の中は事故や感染症の危険も少なく猫にとって安全で快適なはずです。
-  飼ってもらえる人をさがす。
家庭で飼えない場合は、飼ってもらえる人をさがしてみましょう。
-  不妊去勢手術を施し、今以上に増やさないようにする。
不妊去勢手術をすることで猫の頭数が増えなくなるだけでなく、発情期の不快な鳴き声などで付近の住民が悩まされることがなくなります。猫の頭数が多すぎると経済的な負担が大きくなるため増える前にすることが重要です。
-  エサやりが周辺環境に悪影響を与えない場所を選ぶ。
猫の行動範囲が広がることを予測し、食器や食べ残しの後始末を必ずしましょう。



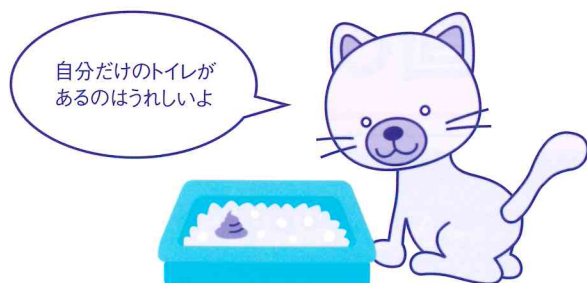
不妊去勢手術は猫にも周辺環境にも好影響をもたらすはず



公園などは小さな子供が遊ぶ場所を奪ってしまうことがあるので適した給餌場所にはなりません。



-  トイレを自宅敷地内に設置するなど排泄物の管理をしっかりする。

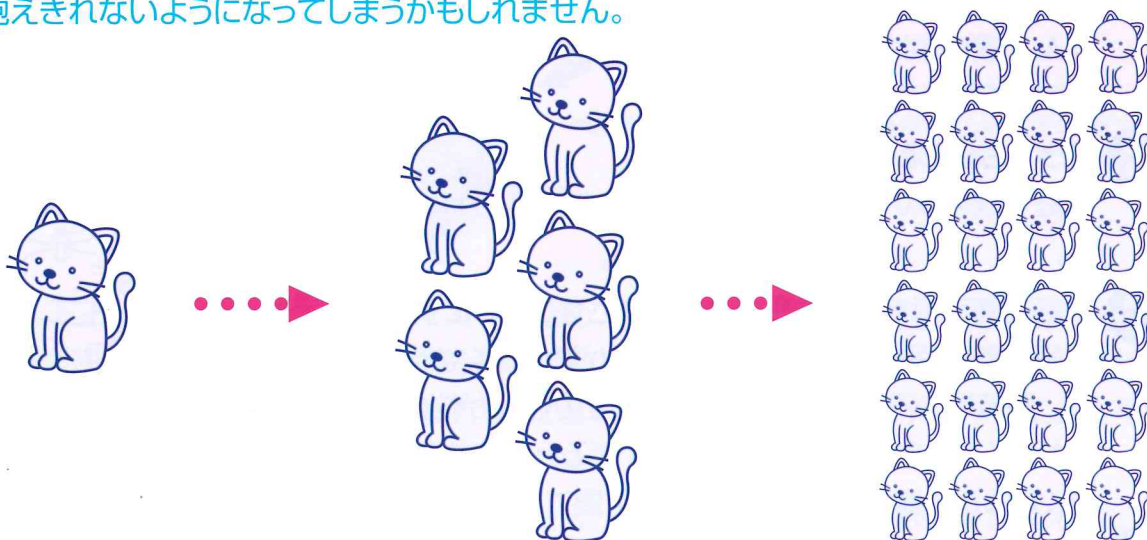


定期的なフンが処理されているトイレは猫にとっても快適です



地域での取り組みのすすめ

- どんな取り組みをする場合でも個人では限界があります。飼い主のいない猫が増えれば増えるほど負担は大きくなってしまいます。エサ代、エサ場の清掃など最終的に個人では抱えきれないようにになってしまうかもしれません。



1～2匹では負担が少ないかもしれませんが、頭数が増えてくると経済的、精神的にも大きな負担になってしまいます。

そこで...

猫との共生を目指す地域での ルールづくりが重要です

猫ルールをつくるために

- *個人で猫の問題を抱えるのではなく地域で取り組むための努力が必要です。
- *猫の存在を迷惑だと思っている人がいる以上、短時間で簡単に解決できる問題ではないため、時間をかけてじっくり話し合うことが大切です。

- 「飼い主のいない猫」を迷惑だと感じている人の中には「猫がいなくなればいい」「処分してしまえばいい」と考える人もいます。問題解決のために猫を排除しようという考え方の人もいますが、猫の増える原因を解決しなければ、時間と共に同じ問題が起きてしまいます。

- 今、各地で問題となっている猫は、所有者不明の猫が地域に住みついたものではなく、元々は家庭で飼われていた猫が迷子になったりするなどの理由で野外生活するようになったもので、飼い主の責任であることを忘れてはいけません。